

矢巾町 SDGs の取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SUSTAINABLE・・・持続可能
サステイナブル

DEVELOPMENT・・・開発
ディベロップメント


GOALS・・・目標
ゴールズ



このカラーホイールは、SDGsの各目標を表している17色を円状に並べたものです。このデザインをあしらったバッジも制作されています。


目標に対するターゲットの例

4 質の高い教育をみんなに




2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事および起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。

11 住み続けられるまちづくりを



2030年までに、すべての人々の、適切、安全かつ安価な住宅及び基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する。

SDGs (エスディー・ジーズ、持続可能な開発目標)

Sustainable、Developmentの頭文字「S」「D」と Goalsの略「Gs」を合わせた略称。

SDGsは、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載がある、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。

17のゴール、169のターゲットから構成され地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

ゴールは上記のアイコンで示され、各ゴールごとにターゲット（具体的な問題に対する解決手法など）が設定されています。発展途上国、先進国に関わらず取り組まれているもので、日本も積極的に取り組んでいます。

矢巾町は、高橋町長が町議会定例会3月会議で「SDGsに取り組む姿勢を明確に宣言し、『誰一人取り残さない』町民が主役のまちづくりをさらに進める」と述べています。

杜陵高速印刷と 協定を締結

町は5月1日、盛岡市の杜陵高速印刷（館川浩社長）と「地球温暖化防止の推進に係るSDGsの取り組み連携と協力に関する協定」を締結しました。

本協定では、17のゴールの内、8つに
関係する項目を盛り込んでいます（下図
参照）。

下図の他、気候変動に伴う適応策や再
生可能エネルギーの導入拡大、廃棄物の
発生抑制・再資源化に関する広報活動で

も連携します。

同社は県内で初めて、「再エネ100
宣言 RE Action」(※)に参加。昨年12月
には、本社・工場における全ての電力を
太陽光発電や風力発電などの再生可能エ
ネルギーでまかなう仕組み作りにお成
功しました。

環境関連以外でも、性別を問わず活躍
できる職場環境の整備や、工場を見学対
応可能とすることを通した、地元雇用の
定着にも積極的に取り組んでいます。

町は、各分野について取り組みを行っ
てきた同社と協力しながら、SDGsに
関わる各種施策を展開していきます。



協定書を掲げる館川社長と高橋町長（左から）

主な協定項目と具体的な取り組み

環境教育や環境リスクに係るコミュニケーション

・小学校などを対象とした、印刷工場見学を通じた環境学
習などの構築

SDGsの普及啓発や実践

・SDGsの普及啓発や実践のための広報支援・ワーク
ショップの開催・講師派遣

その他、町民サービスの向上と地域活性化

・町勢情報などのポスターやチラシの掲出・配架
・町主催イベントなどへの参加

町内の小中学校がSDGs宣言



高橋町長に宣言文を渡す
矢巾中の大泉輝流君

町内の6小中学校は1月に行われた町子ども
議会で、「SDGsの取り組み宣言」を実施。児童、
生徒自らが、普段の生活の中から、SDGsに関わ
ることへ積極的に取り組むことを誓っています。

協定に関わる8つのゴール



※再エネ100宣言 RE Action…企業や自治体など、
各種団体が使用電力を100%、再生可能エネルギ
ーに転換する意思と行動を示し、再エネ100%利
用を促進する枠組み。